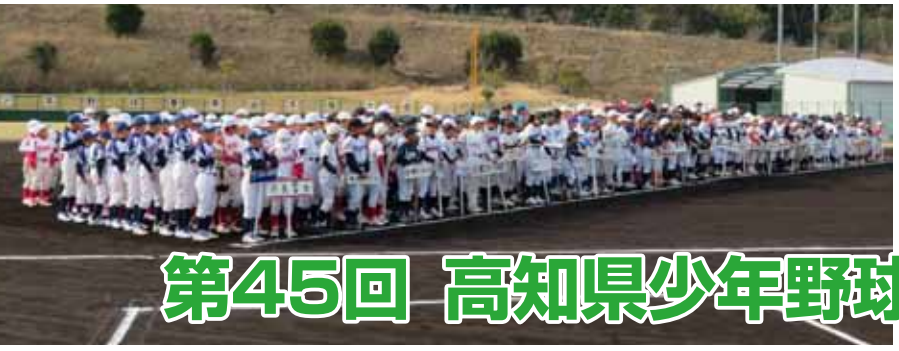
2019.5

第93号

令和元年5月1日発行

室戸 市議会だより

発行／室戸市議会
編集／室戸市議会
議会だより編集委員会
住所／〒781-7185
高知県室戸市浮津25-1
連絡先／0887-22-5140
題字／谷　通子



第45回 高知県少年野球春季選手権大会

3月議会質問者

◇

林　竹　松
小　椋　利　廣
町　田　又　一
山　本　賢　誓
脇　本　健　樹
堺　喜久美
竹　中　多津美

平成31年3月第2回室戸市議会定例会会期日程

月　日	曜日	会の種別	摘　　要	月　日	曜日	会の種別	摘　　要
3月8日	金	本会議	開会・施政方針・提案理由の説明	3月17日	日	休　会	
3月9日	土	休　会		3月18日	月	休　会	委員会
3月10日	日	休　会		3月19日	火	休　会	事務整理
3月11日	月	本会議	一般質問	3月20日	水	休　会	事務整理
3月12日	火	本会議	一般質問	3月21日	木	休　会	春分の日
3月13日	水	本会議	大綱質疑	3月22日	金	休　会	事務整理
3月14日	木	本会議	大綱質疑・委員会付託	3月23日	土	休　会	
3月15日	金	休　会	委員会	3月24日	日	休　会	
3月16日	土	休　会		3月25日	月	本会議	委員長報告・討論・表決・閉会

〈第2回定例会議決結果一覧表〉

議案番号	件　　名	議決年月日	結　果
議案第１号	室戸市移住促進住宅設置及び管理条例の一部改正について	31年3月25日	原案可決
議案第２号	室戸市防災コミュニティセンター設置及び管理条例の一部改正について	31年3月25日	原案可決
議案第３号	室戸市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償支給条例の一部改正について	31年3月25日	原案可決
議案第４号	室戸市国民健康保険税条例の一部改正について	31年3月25日	原案可決
議案第５号	室戸市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	31年3月25日	原案可決
議案第６号	室戸市すこやか子育て祝金支給条例の一部改正について	31年3月25日	原案可決
議案第７号	室戸市園芸用サポートハウス減額貸付条例の制定について	31年3月25日	原案可決
議案第８号	室戸市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について	31年3月25日	原案可決
議案第９号	平成30年度室戸市一般会計第８回補正予算について	31年3月25日	原案可決
議案第10号	平成30年度室戸市国民健康保険事業特別会計第６回補正予算について	31年3月25日	原案可決
議案第11号	平成31年度室戸市一般会計予算について	31年3月25日	原案可決
議案第12号	平成31年度室戸市国民健康保険事業特別会計予算について	31年3月25日	原案可決
議案第13号	平成31年度室戸市介護認定審査会運営事業特別会計予算について	31年3月25日	原案可決
議案第14号	平成31年度室戸市介護保険事業特別会計予算について	31年3月25日	原案可決
議案第15号	平成31年度室戸市海洋深層水給水事業特別会計予算について	31年3月25日	原案可決
議案第16号	平成31年度室戸市障害支援区分認定審査会運営事業特別会計予算について	31年3月25日	原案可決
議案第17号	平成31年度室戸市後期高齢者医療事業特別会計予算について	31年3月25日	原案可決
議案第18号	平成31年度室戸市水道事業会計予算について	31年3月25日	原案可決
議案第19号	室戸勤労者体育センターにおける指定管理者の指定について	31年3月25日	原案可決
議案第20号	室戸市農業共同作業所における指定管理者の指定について	31年3月25日	原案可決
議案第21号	水産関係施設における指定管理者の指定について	31年3月25日	原案可決
議案第22号	水産関係施設における指定管理者の指定について	31年3月25日	原案可決
議案第23号	水産関係施設における指定管理者の指定について	31年3月25日	原案可決
議案第24号	室戸市漁具共同作業所における指定管理者の指定について	31年3月25日	原案可決
議案第25号	吉良川まちなみ拠点施設における指定管理者の指定について	31年3月25日	原案可決
議案第26号	市道路線の認定について	31年3月25日	原案可決
議案第27号	副市長の選任について	31年3月25日	同　　意
議案第28号	教育長の任命について	31年3月25日	同　　意
議案第29号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	31年3月25日	同　　意
議案第30号	室戸市議会委員会条例の一部改正について	31年3月25日	原案可決
議案第31号	室戸市議会会議規則の一部改正について	31年3月25日	原案可決

〈 議 案 の 説 明 〉

議案第11号議案　**◎平成31年度室戸市一般会計予算について**

歳入歳出予算は対前年度比8億1,176万７千円、6.2％増の、総額139億8,219万3千円となりました。

歳入における市税については、人口減少等の影響による市民税の減や、たばこ税の減が見込まれるため、市税全体では、対前年度比1.0％減となりました。

地方交付税については、普通交付税が公債費の増加により基準財政需要額が増となることや地方財政計画の伸び率等から推計し、0.8％増、特別交付税は過去５年の交付実績から推計し、1.3％増となり、地方交付税総額では、0.9％増となりました。

繰入金は、財政調整積立基金繰入金の増とともに、ふるさと室戸応援寄附金基金繰入金の積極的活用等により、43.5％増となりました。

市債については、臨時財政対策債の減や普通建設事業費の減に伴い、8.2％減となりました。

歳出については、義務的経費のうち人件費が、給料及び職員手当の増や地域おこし協力隊増員に伴う報酬等の増額により2.9％増、公債費は、西部学校給食センター整備や消防救急デジタル無線整備等にかかる過疎対策事業債、津波避難タワー整備にかかる緊急防災・減災事業債の償還開始に伴う元金の増加により、11.0％増となりました。

普通建設事業費は、芸東衛生組合負担金のストックヤード建設分の減や市営住宅建替事業費の減等により、1.3％減となりました。

また、積立金は、ふるさと室戸応援寄附金基金積立金等の増額により、6.6％増となっており、補助費等についても、ふるさと室戸応援寄附金お礼品報償費の増額等により、10.6％増となりました。

◆主な新規事業

○種子島周辺漁業対策事業	1億5,000万円
○企業立地促進事業費補助金	6,000万円
○むろと海の学校プール日除設置事業	5,137万円
○室戸高校入学祝金	287万円
○室戸小学校給食受配施設整備事業	6,662万4千円
○図書館システム導入事業	409万2千円

◆主な継続事業

○菜生地区津波避難タワー整備事業	2億3,981万7千円
○バイクライダー等交流宿泊施設リニューアル事業	3,720万6千円
○農林水産業新規就業者への支援事業	3,673万円
○社会資本整備総合交付金による市道等整備事業	4億5,200万円
○住宅耐震化やブロック塀改修等に対する補助事業	1億2,057万9千円
○消防屯所整備事業	1億8,648万1千円

債務負担行為は、室戸勤労者体育センター指定管理料等を計上し、地方債については、各事業に伴う限度額等を計上しました。

議案第12号関係　**◎平成31年度室戸市国民健康保険事業特別会計予算について**

事業勘定歳入歳出予算はそれぞれ対前年度比1,879万5千円、0.7％増の総額28億7,940万3千円を計上しました。

直診勘定歳入歳出予算はそれぞれ対前年度比86万8千円、2.5％減の3,455万8千円を計上しました。

議案第13号関係　**◎平成31年度室戸市介護認定審査会運営事業特別会計予算について**

歳入歳出予算はそれぞれ対前年度比8万円、1.4％増の総額566万5千円を計上しました。

議案第14号関係　**◎平成31年度室戸市介護保険事業特別会計予算について**

歳入歳出予算はそれぞれ対前年度比3,166万5千円、1.5％増の総額22億1,037万4千円を計上しました。

議案第15号関係　**◎平成31年度室戸市海洋深層水給水事業特別会計予算について**

歳入歳出予算はそれぞれ対前年度比61万9千円、1.4％減の総額4,342万2千円を計上しました。

議案第16号関係　**◎平成31年度室戸市障害支援区分認定審査会運営事業特別会計予算について**

歳入歳出予算はそれぞれ前年度と同額の95万5千円を計上しました。

議案第17号関係　**◎平成31年度室戸市後期高齢者医療事業特別会計予算について**

歳入歳出予算はそれぞれ対前年度比1,080万5千円、3.8％増の2億9,209万6千円を計上しました。

議案第18号関係　**◎平成31年度室戸市水道事業会計予算について**

収益的収支は、収入が対前年度比1.8％減の総額3億362万1千円、支出は対前年度比0.5％減の総額2億9,566万3千円を計上しました。

これにより平成31年度の純利益は895万8千円と見込んでおります。

資本的収支は、水道施設の建設改良を予定しており、収入は当該建設改良に伴う国庫補助金、企業債の借入金、簡易水道債の元金償還金に対する一般会計からの繰入金等で、対前年度比16.5％減の総額1億9,562万8千円を計上しております。

支出は対前年度比11.2％減の総額2億7,602万6千円で、その主なものは、菜生配水管布設替工事などの工事費及び企業債の元金償還金です。

資本的収支は、8,039万8千円の財源不足となりますが、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分損益勘定留保資金で補てんすることとしました。

議案第27号関係　**◎副市長の選任について**

副市長に 久保 寛人 氏を選任することに同意するものです。

議案第28号関係　**◎教育長の任命について**

教育長に 百田 貴昌 氏を任命することに同意するものです。

議案第29号関係　**◎固定資産評価審査委員会委員の選任について**

杉本 正一郎 氏の任期満了に伴い、新たに 植村 幸治 氏を選任することに同意するものです。

3月定例会《一般質問とその答弁》

小椋利廣 議員

☆市長の政治姿勢について

問…植田市政最初の当初予算である平成31年度の最重要政策は。

答…「命を守る」「室戸を創る」を主点とし、「命を守る」対策として、地域医療の充実に公設民営の診療所整備に向けた事業規模の検討や経営分析等のコンサルティング委託料、防災対策の津波避難タワー整備事業費や漁業者の被害軽減を図る沿岸漁業無線整備補助等を計上した。

「室戸を創る」対策として、企業立地促進事業費補助金を新設。少子高齢化対策として、子育て祝金の増額。地域おこし協力隊の増員予算や室戸の応援団結成の活動費を計上する等、魅力ある室戸創造の実現に向け、全力で取り組む。

問…課題山積する中、行政の停滞なき予算執行への取組は。

答…地域医療対策は喫緊の最重要課題であり、医療コンサルタント委託事業に早急に着手し、公設民営での診療所整備に向けてスピード感を持って取組む。

災害時の国道不通区間の要望活動の強化等、様々な課題解決に向け、切れ目の無い事業実施に取組む。

問…室戸岬診療所の診療日数・時間を増やせないか。また高齢者等が利用しやすいトイレに改修できないか。

答…受診者数は増加しており、今後、診療日数等の充実を図りたいと考える。

トイレ改修は車いすの利用等について検討したが、工期等による診療所業務の支障を考え、今後工法の検討や費用の精査を行う。

問…むろと廃校水族館は、当初の入館者目標の年間4万人を超え、17万人近くになると言われるが、トイレやバスの交通路線等、色々な課題もあると聞く。今後の施設整備は。

答…むろと廃校水族館は、全国的に注目をあび、観光交流人口の拡大等に繋がっている。施設整備として、見学者の熱中対策に屋外プールの屋根の建設、駐車場の舗装等を予算計上している。

施設外のトイレは、プール横のトイレを使用できるよう指定管理者と協議する。

バスの運行等については関係者と協議・検討する。

問…買物難民や地域医療に対する市独自の交通体系の整備は。

答…高齢者等買い物支援事業、中山間地域高齢者等タクシー利用助成事業に取組み、多くの方々に利用されている。

また、平成30年度から移動販売事業が開始され、安心安全な生活に繋げているが、週2回で地域も限られており、範囲の拡大に取組む。

住民の移動手段の充実に向け、当市の公共交通の現況等を把握し、利便性の高い路線の構築等、多くの住民が利用できる交通体系の構築に全力で取組む。

問…少子高齢化が進むなか、中学校から市外の学校に入学する生徒が増えていると聞くが、学校再編対策について、今後どのように取組むのか。

答…市外の中高一貫校への入学や家庭の事情等による要因が推察される。学校の統廃合の検討が必要になれば、通学区域や地理的条件等を勘案し、保護者などの協力を得ながら、学校教育の充実に努める。

問…室戸中央病院との医療体制と地域医療の整備充実は。

答…室戸中央病院は内科医の雇用や医師派遣など、外来診療の充実に取組まれている。今後、診療日数増や新たな診療科目の設置等、市民要望も踏まえ取組みたいと考える。地域医療体制の充実は、一般病床の確保に全力で取組む。

町田又一 議員

☆土佐備長炭への取組について

問…昨年度の生産、出荷量の状況と年間売上高、また、I・J・Uターンの製炭者の状況はどうか。

答…高知県の統計における「高知県の特用林産」では、平成29年度の生産量は約700t。売上高は推計だが、3億3，800万円である。

また、I・J・Uターンによる製炭者は、これまで特用林産業新規就業者研修支援事業を活用した製炭研修生のうち、11人がI・Uターン者である。

問…計画策定後の市有林の立木売却状況と、広葉樹林面積の拡大について聞く。

答…平成30年8月に市有林2.4

haのウバメガシの立木売却を行った。

また、広葉樹林面積の拡大については、原木の持続ある供給量の確保は重要な課題であると認識しているが、その前提となる人工林の伐採、及び造林に係る費用なども必要となるため、平成31年度から導入予定の森林環境譲与税の活用や、安芸森林管理署の助言を得ながら、更なる検討を行う。

問…新規製炭就業予定者や、受入態勢の整備等における支援策について聞く。

答…就業予定者については、従来から行っている特用林産業新規就業者研修支援事業などを活用し、今年度は2名が新規研修生として研修を実施している。

また、製炭窯整備事業を活用して、新規製炭者に対する製炭窯1基の新設への支援を行った。

受入態勢の整備としては、今後、研修生の数を増やしていくため、受入可能な製炭者の登録を進めるべく、広報10月号での募集も行った。

問…生産組合の組織化について、現在の状況と今後の取り組みについて聞く。

答…関係者の尽力により、平成28年に土佐備長炭室戸生産組合を立ち上げた。

それ以前に、東洋町の生産組合に加入している方もいることから、市内の製炭者全てが室戸生産組合に加入できていない状況だ。

また、各製炭者が各々問屋と取引を行い、販売している状況から、生産組合として一体となった活動がなかなかできていない事が課題となっており、今後も生産組合の方々と協議しながら、体制の強化について検討して行く。

問…木炭振興計画の統括と、今後の取組方針について聞く。

答…売上高については順調に推移している。原木の供給体制や組織体制の強化などの課題もあるが、関係機関の意見を伺いながら、振興計画の見直しに取り組んで行く。

新規製炭者については、市外・県外から移住して来た方が多くいるので、移住対策の面から考えても非常に有効だと考えている。

末永く室戸市内で製炭業に従事してもらえるよう、原木の確保や自立に向けた支援策、住居確保対策などの施策に取り組む。

問…ふるさと納税への取組強化について聞く。

答…本市への寄付金は年々増加している。本市の生産者や事業者の所得向上など、一定の経済効果に繋がっている。

今後も、ふるさと納税制度を活用した、より魅力的な返礼品の開発や、ふるさと納税の取り組み、寄附金を活用した事例などを広く全国にPRして行く事で、一人でも多くの方々に本市のファンになってもらい、生産者の所得向上、地場産業の振興、地域経済の活性化等に繋げて行く。

山本賢誓　議員

☆室戸市政全般について

1吉良川町並み保存地区の排水悪臭対策について

問…市内外から多くの観光客が来る地域である。悪臭問題解決は大切な問題である。流水措置を施したり合併浄化槽の設置を促すべきではないか聞く。

答…微生物活性酵素入りの散布材の使用を試験的に実施するなど、効果検証の上、持続的な取り組みを行う。

2吉良川町西山地区の農業後継者問題について

問…以前に調査を依頼したが、その結果はどうか。

また調査結果を見て、どのような対応を考えているのか聞く。

答…後継者の有無については、50％の方が「いない」とした。

また、「あと何年農業を続けられるのか」については、「10年未満」が70％、10年後の集落の農業については、70％の方が「必ず問題が起こる」との回答があった。

今後も生産農家と意見交換を重ね、後継者対策に努めて行く。

3吉良川町西山地区のイモ生産農家への対応について

問…「西山金時」で有名なイモ生産農家の労力縮減対策が必要である。対応可能としたら、どのような方策が検討できるか聞く。

答…国事業である「産地パワーアップ事業」や「強い農業・担い手づくり総合支援交付金」を活用することなどが考えられる。用地取得や自己負担額等の問題があるので、高知県農業協同組合、イモ部会及び関係機関と協議を重ね検討していく。

4市道北生線への対応について

問…市道北生線は、小・中学校の通学路であるが、路面損傷が半端ない。今後どう対応するのか聞く。

答…限られた予算の中で計画的に整備を行い、適切な維持管理に努める。

5室戸市の林業行政について

問…木材生産については、林内路網の整備が不可欠である。林道開設に必要な要件を満たした林地が室戸市内にある。林道新規路線の開設について、高知県との協議をお願いしてあったが、その進捗状況を聞く。

答…室戸市の森林施業の役割は重要である。関係機関や団体と協議を重ね、開設計画に向けて検討していく。

脇本健樹　議員

☆室戸市活性の観光施策について

問…観光関連施設の特徴を生かした今後の取り組みは。

答…観光関連施設の連携を図り、市内を周遊できる取り組みが必要である。

現在取り組んでいる、特産品をもらう事ができるスタンプラリーや、ふるさと旅行券などの活用により、観光交流人口拡大、観光産業や地域経済振興など、発展につなげる必要がある。

問…廃校水族館のおかげで来訪者は増えたが、思った以上の経済効果が見えないようだ。

通過型でなく、滞在型観光になるような取り組みは。

答…滞在型の観光を目指した取り組みを進めるためには、本市の特徴である室戸岬を中心とする、室戸阿南海岸国定公園、室戸ユネスコ世界ジオパーク、海洋深層水、新鮮な魚介類や農産物など、恵まれた観光資源を生かすことが大切である。

加えて、こうした自慢の食材をより旨く料理するために、日本一の生産量を誇る備長炭の活用は、一層、室戸の観光力を高められる資源であり、これらの観光資源と供に、教育旅行の受入や民泊の推進、自然体験型観光資源の磨き上げを行い、各種団体、企業及び、東部観光協議会等と連携・協力を図りながら観光振興に取り組む。

☆医療環境について

問…救急車の出動状況は。

答…室戸病院の救急告示取下げ前の平成25年は915件、平成27年に初めて千件を越え1，051件、平成30年は1，162件と増加傾向である。

問…夜間の救急搬送数、搬送先の割合推移は。

答…搬送数は、室戸病院の救急告示取下げ前の平成25年は395件、平成30年は502件である。

搬送先の割合は、田野病院は平成25年17％、平成30年24％。県立あき総合病院は、平成25年25％、平成30年57％。その他の病院は平成25年23％、平成30年19％と推移している。

このように、救急件数が増加している中で救急搬送が重なった場合は、本部職員の応援や非番召集を行う事などにより、人員のやり繰りをしている状況であり、今後についても救急件数の増加傾向が見込まれることから、気管挿管などの特定行為が行える救急救命士の育成など、職員、救急隊員のさらなるスキルアップに向けて取り組んで行く。

問…「むろと健康ダイヤル24」の利活用により、救急隊の出動軽減が図れると思うが、利用件数の推移は。

答…24時間、365日、利用料・通話料無料で、医師や看護師等の専門スタッフに、健康や医療、介護等の相談ができる「むろと健康ダイヤル24」を、平成26年度に開設した。

利用件数は、平成28年度は276件、平成29年度は291件、平成30年度は、1月末現在251件であり、「受診の目安や医療機関を案内してもらい、安心した。」などの声をいただいている。

問…室戸市内の医療機関における夜間診療、休日診療の実現は。

答…当初予算に計上している診療所経営等コンサルタント委託事業の中で、救急医療、休日・夜間診療を提供する場合の予測も行い判断をする。

まずは、一般病床を持った医療機関の整備を行い、その後、医療スタッフの確保等による診療体制の充実に取り組み、救急医療、休日・夜間診療の対応ができる体制に向け、強力に取組んで行く。

堺喜久美　議員

☆地域包括ケアシステム医療と介護の連携サービスについて

問…住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう「医療介護総合確保推進法」が施行され、すべての自治体で実施されることになったが、本市の体制は整えられているか。

答…これまで、安芸圏域の市町村において、本事業推進に向けた戦略会議を重ねている。

その中で、入院時や退院時の医療と介護における情報を共有し、切れ目なく支える環境を整えることで、安心して在宅生活を送れることを目的に「安芸圏域入退院連絡手引き」を作成し、周知を図っている。

また、連携の強化を図るため、高知大学医学部が開発し、運用を行っている「高知医療介護情報連携システム」の導入に向けた取り組みを始めており、来年度から試験運用を行う予定である。

☆生活支援サービスと地域支援ネットワークについて

問…市町村が中心となり、地域で支え合う体制を作り、住民に多様なサービスを充実させる「介護予防・日常生活支援総合事業」と、これらを提供していただく「地域支援ネットワーク」は整備されているか。

答…高齢者が地域とのつながりや生きがいを持ちながら暮らしていくため、多様な生活支援や介護予防、社会参加の必要性が増してきている。

これらのニーズを踏まえ、民間企業やNPO、ボランティア、住民をはじめとした多様な主体が連携しながら取り組んでいる。

そのため、28年度より生活支援コーディネーターを配置し、すでに行われている住民同士の支え合いの情報を収集している。

☆阿佐東線ＤＭＶ導入について

問…海陽町の海部駅と東洋町の甲浦駅を結ぶ阿佐海岸鉄道が、線路と道路の両方を走れる新しい乗り物「デュアル・モード・ビークル（ＤＭＶ）」が、２０２０年までの営業運航をめざして、このほどデザインの愛称が決定されたと報道されたが、本市はこの事業に参入し、甲浦駅から室戸岬までの運行ルートを要望できないか。

答…阿佐東線におけるＤＭＶ導入については、徳島県、高知県、海陽町、美波町、牟岐町、東洋町などにより、協議会を平成28年度に立ちあげて取り組んでいる。

本市の参入については、これまでの協議会での議論の経緯があること。

導入経費約13億円を加盟自治体などが負担しており、参入する場合は相応の負担金が生じることが想定される。

既存のバス路線と重複することなどの課題が考えられる。

本市は、極めて交通基盤の脆弱な市であることから、今後においては、甲浦駅と奈半利駅を結ぶ公共交通の可能性についてなど、情報収集に努め、関係機関への要望活動なども含め、協議検討していく。

☆室戸岬における野良猫対策について

問…最近「飼い主のいない猫」が増加している。繁殖をさせないためにも、不妊去勢手術を公費で取り組むことはできないか。

答…市としては、飼い猫であれば室内で飼うよう、野良猫には餌を与えないことなど、広報等で啓発を強化したい。

また不妊手術を公費で取り組むことについては、今後安芸福祉事務所と協議をしていく。

竹中多津美　議員

☆インフルエンザワクチン接種費用の助成について

問…室戸市では、様々な子育て支援に取り組まれているが、インフルエンザワクチン接種費用への助成は行われていない。支援する予定はあるか。

答…今後、助成対象年齢や助成金額等を検討したうえで制度を構築し、室戸の未来を担う子供たちの健全育成や子育て支援の一環として取り組む。

総務文教委員会委員長報告（抜粋）

平成31年3月定例会

「議案第1号　室戸市移住促進住宅設置及び管理条例の一部改正について」

移住促進住宅の総戸数と移住者数、及び職業について質疑があり、

「移住促進住宅の総戸数は6戸である。平成30年度の移住者数は3月14日時点で14組、24名であり、主な職業については、ＮＰＯ法人や水産業関係などである。」と答弁があった。

次に、「移住後の生活に対するケアが一番大事であると考えるが、できているのか。」と質疑があり、

「移住相談を通じて、移住する方への必要な情報提供はしており、また、本市の民間移住支援団体からの情報提供も行うなど、移住者へのケア対応は行っている。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第2号　室戸市防災コミュニティセンター設置及び管理条例の一部改正について」

特段の質疑もなく、採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第3号　室戸市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償　支給条例の一部改正について」

「地方公共交通会議に出席する場合、委員は仕事の時間を取られることになることから、上程された報酬額より高くても良いと考えるが、この報酬額は何を基準として設定されたのか。」と質疑があり、

「市が諮問を行うような類似した会議の委員報酬額については、同条例により統一されていることから、今回の報酬額についても同額としている。」と答弁があった。

次に、「警察や行政機関など、公務で出席をする委員に対する報酬の支払いはどうなるのか。」と質疑があり、

「公務で会議に出席する委員への報酬費の支給は、確認の上、無償としているが、独立行政法人などは支給が可能であることから、お互い確認の上で進めていくことになる。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第9号　平成30年度　室戸市一般会計第8回補正予算について」

☆企画財政課関係

歳入、財政調整積立基金繰入金及び地方債の補正について質疑があり、

「今回の補正後の財政調整基金の額については、約16億9千万円、対前年度比で約1億6，100万円の減となる見込みである。

また、地方債の残高については、約131億8千万円、対前年度比で約7億7千万円の増となる見込みである。」と答弁があった。

次に、債務負担行為の補正について、「室戸海洋深層水体験交流センター及びキラメッセ室戸鯨館における指定管理料の変更理由は何か。

また、施設を修繕する場合、一定額以上は市が修繕を行うなど、修繕費の支払いの取り決めはあるのか。」と質疑があり、

「室戸海洋深層水体験交流センターについては、燃料費の高騰など、またキラメッセ室戸鯨館については、来年度から消費税が10％となることから、光熱水費等の消費税分を増額するものである。

施設に係る修繕費の支出の取り決めについては、10万円までは指定管理者が行い、それ以上の金額であれば、市が施設の修繕をすることが多い。」と答弁があった。

☆**選挙管理委員会関係**

室戸市長選挙費について、「今回の市長選は、過去に比べて投票率が上昇しているが、高齢者が投票しやすい環境を作るなど、投票率アップへの更なる取り組みについて検討しているか。」と質疑があり、「投票率アップの取り組みとして、次の選挙から投票所内の土足化を6か所増やすよう検討している。」と答弁があった。

☆**財産管理課関係**

市営住宅補修整備工事費1，163万1千円の減額理由について質疑があり、「入札減によるものである。」と答弁があった。

次に、老朽住宅除却事業費補助金1，330万円について、「なぜ、3月補正の予算計上となったのか。」と質疑があり、「今年度、予定していた移住関係の補助金に不用額が生じたため、申請件数の多い同補助金に、繰越明許費の補正予算として組み替えるものである。」と答弁があった。

☆**福祉事務所関係**

児童扶養手当について、「約1千万円の減額となった理由は何か。」と質疑があり、「実績に基づき予算計上していたが、対象者の見込みが少なかったため、当初の見込みより減額となった。」と答弁があった。

☆**防災対策課関係**

津波避難施設等整備工事費の2，131万3千円の減額理由について質疑があり、「地権者の同意が得られなかったことなどにより、路線数が減少したことや、地元との協議を重ねる中で、路線が変更となったことなどによるものである。」と答弁があった。

☆**税務課関係**

エルタックス・エー・エス・ピー使用料について、「エルタックス・エー・エス・ピーとは何であるか。」と質疑があり、「地方税の申告と国税連携の電子申告システムである。」と答弁があった。

☆**保健介護課関係**

公用車購入費について、「56万4千円の入札減となっているが、公用車の車種と購入予算額はいくらに設定していたのか。また、入札には何事業者が参加したのか。」と質疑があり、「軽四箱バンの公用車を購入するものである。135万4千円で予算計上を行い、入札を実施したところ、79万円での落札となった。

参加事業者数は市内の7事業者である。」と答弁があった。

次に、中山間地域介護サービス確保対策事業費補助金の事業内容と、事業者数について質疑があり、「中山間地域の高齢者に対する介護サービスを確保するため、介護サービスを提供する介護サービス事業者に対して補助金を交付するものである。平成30年度は10事業所が利用している。」と答弁があった。

☆**観光ジオパーク推進課関係**

地域おこし協力隊員報酬の減額理由等について質疑があり、「平成30年度当初から、地域おこし協力隊員を1名雇用する予定であったが、今年1月の雇用となったためである。」と答弁があった。

総務課、市民課、人権啓発課、学校保育課、産業振興課、建設土木課、生涯学習課、消防本部関係については、特段の質疑もなく、採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第11号 平成31年度 室戸市一般会計予算について」

☆**企画財政課関係**

地域おこし協力隊委員報酬について、「地域おこし協力隊員は、報酬が支給されているが、勤務時間中にイベントなどに参加をして物品販売を行うことは問題ないのか。」と質疑があり、「勤務時間中の販売等による個人収入については、地域おこし協力隊員は受け取れないこととなっている。勤務時間は週29時間であり、勤務命令簿により勤務状況の把握を行っている。

副業は認められているが、市民の誤解が生じないよう、しっかりと説明して行きたい。」と答弁があった。

次に、出会いのきっかけづくり事業費補助金について、「事業を実施しても参加人数が集まらないと聞く。市内の商工・農業者団体などに、企画事業を提案するなど、市から出会いの場を増やす働きかけを行ってはどうか。」と質疑があり、「この事業は、本市にとっても大切な事業であることから、現在これを活用している団体等への意見聴取をおこない、事業内容について検討して行く。」と答弁があった。

☆**消防本部関係**

消防施設整備工事費及び、消防施設用地購入費について、「今回の予算により、消防屯所の大体の建替事業は完了するのか。」と質疑があり、「消防屯所の建替事業については、椎名地区など未実施の屯所もある。今後についても事業を継続して取り組んで行きたい。」と答弁があった。

次に、消防車等購入費について、「どこの分団の消防車を購入するのか。」と質疑があり、「佐喜浜分団の積載車と、消防本部の警防車を、各1台ずつ購入するものである。」と答弁があった。

☆**観光ジオパーク推進課関係**

恋人の聖地活用事業報償費について、「本市は3か所の恋人の聖地に認定を受け、イベントも開催をしていた。様々な取り組みを行う事により、交流人口の拡大にもつながると思う。課の取組姿勢について聞く。」と質疑があり、「恋人の聖地については、全国展開している恋人の聖地プロジェクト企画に毎年参加をしており、昨年は恋人の聖地のPRとしてポッキーを配布

した。今後も有効活用に努めて行く。」と答弁があった。

次に、企画展等委託料の事業内容について質疑があり、

「室戸世界ジオパークセンター内にて行う、高知コア研究所と連携したイベント企画展を、現在予定している。その他、全国のジオパークを紹介するポスター展などの企画展もある。」と答弁があった。

☆保健介護課関係

夢ひろば舞台スタッフ謝礼について質疑があり、

「夢ひろばの舞台スタッフに対する年間分の謝礼である。」と答弁があった。

次に、デイサービス入浴施設改修工事の内容について質疑があり、

「デイサービスの入浴施設が19年経過をしており、度重なる故障も発生している。ボイラーなど全ての機器の耐用年数も超過していることから、今回改修を行うものである。」と答弁があった。

☆総務課関係

電算機器保守他委託料、及び電算機器他賃借料について質疑があり、

「委託料については、元号への対応作業や地域インターネットの保守料などが含まれていることから、必要な経費であり、また、賃借料については、基幹業務サービスの利用料やシステム賃借料、セキュリティ強化対策などが含まれていることから、必要な経費であると考えている。」と答弁があった。

☆財産管理課関係

バス運転手賃金について、

「使用するバスと仕事内容はどういうものであるのか。」と質疑があり、

「市有のマイクロバスを使用し、学校の行事や公共的な行事などに使用するバスの運転を行うものであり、執務時間に応じて賃金を支払うものである。」と答弁があった。

次に、庁舎修繕他工事費について「庁舎のどこを工事するのか。」と質疑があり、

「主なものは、市民課と税務課の停電時における窓口業務の事務遅滞を防ぐための電源の増設工事や、通路の天井に設置している非常灯の修繕などである。」と答弁があった。

☆防災対策課関係

津波避難タワー整備工事費について、「菜生地区の津波避難タワーには囲いや屋根を設置するのか。保育所が近く、日照権の問題はないのか。また、何日分の非常食が備蓄されるのか。」と質疑があり、

「津波避難タワーは、一時の避難場所であるという考えから、これまで市内に整備した津波避難タワーと同様、囲いや屋根は設置しない。

日照権については、周囲に日照権の問題は発生しないことは、設計の段階で確認している。

また、備蓄品については、市内の分散備蓄としてミルクやオムツなどを備蓄する予定である。食料品については3日分に増やすことを進めている。」と答弁があった。

次に、災害対応型給油所整備促進事業費補助金について、

「どういった給油所が対象となるのか。また、毎年予算計上するのか。」と質疑があり、

「L1(エルワン)津波が到達しない高さにある給油所が対象となる。発災時にガソリンを供給するための発電設備などを整備する給油所において、補助金を支給するものである。

毎年度、要望調査は行っており、平成31年度は1事業所の要望があったことから予算計上している。」と答弁があった。

☆税務課関係

市たばこ税について、「平成31年度の予算は去年に比べ、約1千万円の減収となっているが、今後はどのように推移すると考えるのか。」と質疑があり、

「ここ数年間の税収は減少している。今後もたばこ税の値上げや健康面の配慮などにより、たばこ税の減収が想定される。」と答弁があった。

☆産業振興課・農業委員会事務局関係

漁船導入支援事業費補助金及び、水産施設防犯カメラ設置支援事業費補助金について質疑があり、

「漁船導入支援事業費補助金については、現在、要望のあった佐喜浜地区と室戸岬地区の漁業者に対し、補助を予定している。事業実施にあたり、一定の経営判断を高知県漁協や関係機関に行っていただくことになる。

水産施設防犯カメラ設置支援事業費補助金については、室戸統括支所に設置する予定であり、今後、各支所と協議を行いながら設置を進めていく。」と答弁があった。

次に、ふるさと室戸応援寄附金お礼品について、「お礼品の額について、10億円を目指すとのことだが、どのように取り組んでいくのか。」と質疑があり、

「平成31年度から、地域おこし協力隊を3名配置し、商品の掘り起こしや既存商品の磨き上げ、またメディアを活用した宣伝活動を行うなど、積極的に取り組んでいく。」と答弁があった。

☆学校保育課関係

室戸高校入学祝金について質疑があり、

「室戸高校の魅力化の第一歩であり、今後、多くの意見も反映させながら支援して行きたい。」と答弁があった。

次に、学校給食共同調理場について質疑があり、

「本年9月から室戸中学校の学校給食が開始される準備予算を計上しており、これにより市内全ての学校給食が提供できる見込みである。」と答弁があった。

☆生涯学習課関係

運動広場用備品購入費について、「室戸市中央公園にて使用する備品を購入するとのことだが、どういった内容のものなのか。」と質疑があり、

「公園の整地や除草作業などに必要なスポーツトラクター用の付属備品を購入するものである。」と答弁があった。

選挙管理委員会、会計課、債権管理課、市民課、監査委員事務局、福祉事務所、人権啓発課、建設土木課関係については、特段の質疑もなく、採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第19号　室戸勤労者体育センターにおける指定管理者の指定について」

特段の質疑もなく、採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第25号　吉良川まちなみ拠点施設における指定管理者の指定について」

「吉良川町並み保存会の役員構成と会長名について聞く。」と質疑があり、

「吉良川町並み保存会は13名の役員で構成されている。現在の理事長は、青木準吉　氏である。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

産業厚生委員会委員長報告（抜粋）

平成31年3月定例会

「議案第4号　室戸市国民健康保険税条例の一部改正について」

「天災・災害の基準について、どんな小さな台風等でも適用できるのか。」と質疑があり、

「台風、地震、大雨等すべての災害に該当し、被害規模により適用する。家屋、家財の損害の割合や該当者の年間所得金額により軽減率が決定する。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第5号　室戸市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について」

「災害援護資金の貸付利率等について、市町村が条例で定めることができるよう見直しが行われたとのことだが、全国的に利率の引き下げは行われているのか。」と質疑があり、

「今まで利率は3％で固定されていたが、市町村判断で低い利率での貸し付けが可能となった。

高知市や他市においても同じような利率や償還方法になっている。」と答弁があった。

また、「災害援護資金の据置期間及び償還年限はそれぞれ何年か。」と質疑があり、

「据置期間は3年、償還期間は10年である。例外として、内閣総理大臣が認めた特別な事項については据置期間5年となる。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第6号　室戸市すこやか子育て祝金支給条例の一部改正について」

「当該出産日の3か月前から住民基本台帳に記載がある者という条件があるが、期間を3か月とした根拠は何か。」と質疑があり、

「改正前は1年という期間であったが、妊娠をしている方、室戸市に移住してきた方にも制度が適用されるように期間を短くしている。

ただ、一定室戸市に居住している実態が必要なため、3か月という期間を設けている。」と答弁があった。

また、「祝金を受け取った後に他市町村に移住した場合、どういう対処をするのか。」と質疑があり、

「日本国憲法で居住の自由が保障されているため、出産後の居住は強制ではない。申請書においても、チェックを入れる程度に留めたいと考えており、強制力があるとか返還金が生じるといったことは考えていない。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第7号　室戸市園芸用サポートハウス減額貸付条例の制定について」

「市長が別に定める農業研修として、高知県立農業大学校を指定したのは何故か。」と質疑があり、

「農業の担い手確保の農業研修機関として、県が建設した農業担い手育成センターと高知県立農業大学校が県内の主な施設になっていることから、この2か所を農業研修機関として定めている。」と答弁があった。

また、「サポートハウスの費用について1千平方メートルあたりの貸付料を定めているが、端数の面積についてはどう算定するか。」と質疑があり、

「1千平方メートルあたり25万円としているので、面積で割り戻して計算をする。

今回、完成予定面積の1，800平方メートルの場合は45万円という算定となる。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第8号　室戸市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について」

特段の質疑もなく、採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第10号　平成30年度室戸市国民健康保険事業特別会計第6回補正予算について」

直診勘定については、「歳出、往診用タクシー借上料他の不用額70万円について、公用車を購入したためタクシー借上料が減額になったとのことだが、往診を行っている医師と対象の患者はそれぞれ何名か。」と質疑があり、

「往診を行っている医師は現在2名である。

患者数については、平成29年度は17名だったが、室戸中央病院に10名程度引き受けてもらったため、今年度は7～8名の往診を行っている。」と答弁があった。

事業勘定については、特段の質疑もなく、採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第12号 平成31年度 室戸市国民健康保険事業特別会計予算について」

事業勘定、歳入、保険給付費等交付金の保険者努力支援分826万9千円の交付金の内容と、前年度から130万円ほど減額になった理由について質疑があり、

「保険者努力支援制度は、保険事業に対する保険者の努力に応じた交付金であり、収納率や特定健診・特定保健指導の実施率、ジェネリック医薬品の使用割合等が指標となるが、今年度はそれらの率や割合が低かったため、前年度より減額となったものである。」と答弁があった。

次に、「直診勘定、歳入、文書手数料の診断書等交付手数料5万円について、診断書の単価はいくらか。

また公立病院や医院等で診断書の単価は変わってくるか。」と質疑があり、

「主治医の意見書作成費として歳入を見込んでおり、通常は1件につき5，400円だが、一律ではないと聞いている。」と答弁があった。

採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第13号 平成31年度 室戸市介護認定審査会運営事業特別会計予算について」

介護認定審査会の開催頻度と、室戸市と東洋町の申請者の比率について質疑があり、

「介護認定審査会は毎週木曜日に開催しており、平成31年度は52回開催予定ということで予算を組んでいる。

申請者の比率については、室戸市81.5%、東洋町18.5%である。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第14号 平成31年度 室戸市介護保険事業特別会計予算について」

「げんきクラブ活動事業委託料367万5千円について、事業内容と委託先、また短期集中型事業とはどのようなものか。」と質疑があり、

「げんきクラブは現在22か所で行われており、平成31年度は増えることを想定して25か所で活動事業費を計上している。住民が主体となり、各地域において体操やダンス、音楽、調理等を介護予防活動としておこなっている。

短期集中型事業は、65歳以上の生活機能が低下している方を対象に、市が指定したサービス事業所で運動機能向上プログラムを行う事業である。」と答弁があった。

次に、「包括的支援事業費3，382万1千円について、室戸市社会福祉協議会にどのような事業を委託しているのか。」と質疑があり、

「同協議会には包括支援センターの運営を委託している。事業内容は、総合相談支援事業、介護予防ケアマネージメント事業、権利擁護事業、包括的継続的ケアマネージメント事業、介護予防支援事業となっている。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第15号 平成31年度 室戸市海洋深層水給水事業特別会計予算について」

「歳入、海洋深層水使用料3，397万2千円について、前年度から500万円近く増額となっている根拠は何か。」と質疑があり、

「この使用料については、平成30年度の実績見込みにより算定をしている。今年度は企業の新たな養殖事業への取り組み、企業給水による使用料収入の増があり、平成31年度もこれを見込んで算出をしている。

企業給水については、一昨年の大学との共同研究の成果等を受けて販売増に繋がっているのではないかと分析している。」と答弁があった。

次に、「歳出、貯水タンク設計委託料879万円について、貯水タンクを入れ替えるということか。」と質疑があり、

「給水先企業の使用水量の増加を受け、昼間の最大使用時には供給量不足が発生している。いろいろ分析をしたうえで、その対策として新たなタンクの設計業務について、今回予算を計上しているものである。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第16号 平成31年度 室戸市障害支援区分認定審査会運営事業特別会計予算について」

特段の質疑もなく、採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第17号 平成31年度 室戸市後期高齢者医療事業特別会計予算について」

「歳入、現年度分、特別徴収保険料1億2，836万2千円について、前年度実績に基づいて広域連合から納付金が交付されると思うが、実績が大きく下がった場合、交付金の金額が上乗せされる等の特例はあるか。」と質疑があり、

「納付金の金額については、あくまでも前年度実績で算出される。医療費も関連してくるため、医療費が伸びれば納付金の負担額も上昇する。」と答弁があった。

また、「後期高齢者の対象者数はどのように推移しているか。」と質疑があり、

「対象者は、平成28年度末は3，218名、平成29年度末は3，236名、平成31年1月末時点では3，257名であり、微増傾向にある。」と答弁がありました。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第18号 平成31年度 室戸市水道事業会計予算について」

「収入、繰入金924万3千円について、繰入金が下がってきた理由は何か」と質疑があり、

「以前は、償還利息が高い時期の利息分を支払っていたが、現在は支払う額が下がっていること、また平成29年度には、水道事業の経営戦略作成や簡水統合を行っており、これらの事業経費の2分の1を一般会計から繰り入れしたため、額が大きくなっていたことが原因である。」と答弁があった。

次に、「支出、配水施設改良費の工事請負費1億6，907万円について、前年度より5千万円ほどの減額になっているが、水道使用量の動向を考慮した場合、事業費をもっと絞り込む必要があるのではないか。」と質疑があり、

「工事費の絞り込みはできるだけしていきたいが、国道の配管工事や石綿管の取り換え工事等、どうしても行う必要がある事業があるため、金額が大きくなっている。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第20号　室戸市農業共同作業所における指定管理者の指定について」

「今回指定を受ける施設はどの施設になるのか。農機具倉庫は該当するか。」と質疑があり、

「旧ＪＡ土佐あき佐喜浜支所の前にある、いわゆるライスセンターと呼ばれている施設である。

農機具倉庫については、今回の指定管理施設には該当しない。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第21号　水産関係施設における指定管理者の指定について」

「指定管理者が高知県漁業協同組合となっているが、実際に管理をするのは誰か。」と質疑があり、

「高知県漁業協同組合　佐喜浜支所が実際の管理を行うかたちになる。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第22号　水産関係施設における指定管理者の指定について」

特段の質疑もなく、採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第23号　水産関係施設における指定管理者の指定について」

特段の質疑もなく、採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第24号　室戸市漁具共同作業所における指定管理者の指定について」

「高知県漁業協同組合を指定管理者としなかったのは何故か。」と質疑があり、

「場所でいえばこの作業場は高知県漁業協同組合の管轄区域になるが、従来から室戸岬小型船主組合が管理をしている。そこから外すよりは引き続き同組合に管理を依頼するほうが良いと判断し、再度指定をするものである。」と答弁があった

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第26号　市道路線の認定について」

「突き当りとなっている道路を市道として認定できるのか。回し場を設置する必要があるのではないか。」と質疑があり、

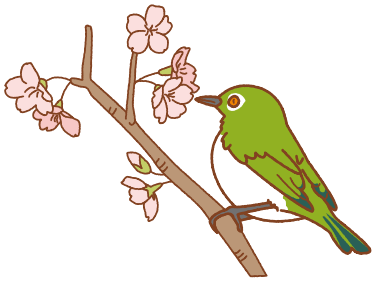
「市道認定の基準としては、路線が系統的で交通上重要であること、国道・県道・市道等に連結している連絡道路であること、また公共施設等に通じるアクセス道路であること等としており、今回の市道はその基準を満たしている。

回し場については、道路構造令の基準に則り、市道のＬ字型の部分の車道幅員を６メートル、側溝を左右それぞれ50センチメートル取り、合計７メートルの幅員とし、そこで車が旋回できるようにしている。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

閉会中の主な議会活動

1月６日　室戸市消防出初式に議長、関係議員出席
1月９日　議会運営委員会開催
1月13日　室戸市成人式に議長、関係議員出席
2月１日　韓国野球室戸合宿歓迎セレモニーに議長出席
2月10日　室戸市春の観光開き及び「リョーマの休日　自然＆体験キャンペーンスタートイベント（東部エリア）セレモニー」に議長、関係議員出席
2月15日　市議会議員共済会第117回代議員会及び、全国市議会議長会第164回産業経済委員会に議長出席
2月21日　議会運営委員会開催
2月25日　天皇陛下御在位30年記念式典に正・副議長出席
2月28日　安芸広域市町村圏事務組合議会定例会に議長出席
3月２日　室戸市政施行60周年記念式典に議長、議員出席
3月５日　議会運営委員会開催



定例会の傍聴にお忙しくて来られない市民の皆様に

行政の動きがご理解頂けるように編集委員一同、「簡明で判り易い紙面に!」の思いを込めて議会だよりを編集いたしました。

市民が安心して暮らせる郷土を目指し議員一同、より一層の努力をしてまいりますので、今後共ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

〈編集委員一同〉

議会の傍聴においでください。

次の議会定例会は6月中旬です。

議会事務局
☎22-5140